

| ナンバリング | 科目名 | サブタイトル | 担当教員 | 配当年学期 | 単位数 |
|---------------------------|--|--------------------|--------------------------|--------|-----|
| 122BT10 | 交通英語入門2 | コミュニケーションから始める交通英語 | 福山 圭介 | 1 年次後期 | 2 |
| 科目区分 | 専門 | キーワード | 旅行英会話、観光業の英語、交通産業の英語 | | |
| ディプロマポリシーとの対応 | 2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力 | | | | |
| カリキュラムポリシーとの対応 | 1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける | | | | |
| 事前に受講するとよい科目 | 基礎英語 | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 | | | | |
| 教員への連絡方法 | 教員の短大メールアドレス | | | | |
| 講義の目的 | 高等学校までの文法・読解中心の英語学習ではなく、音声と会話表現を学習の入り口とすることで、1からの英語習得を目指します。後期の授業では、実際に交通機関で使われる表現を取り入れることで、受講生の英語に対する興味・関心を高めます。 | | | | |
| 到達目標 | (1)英語の基礎を復習しながら、交通に関わる語彙を増やす。(2)将来、現場で使うことを想定しながら、実用的な表現法を学び交通英語に慣れる（観光英語検定3級程度）。 | | | | |
| 講義内容 | 私たちが日常的に利用する交通機関では、様々なコミュニケーションが交わされています。日本語では難なく説明できることも、突然英語で尋ねられて言葉が出てこなかったという経験をした人もいるでしょう。本授業では日常で使える英語を学びながら、交通英語で使える表現や語彙を増やしていきます。 | | | | |
| 講義スケジュール | | タイトル | 内容 | | |
| | 第1講 | オリエンテーション | 授業方針の説明と簡単な聞き取り問題 | | |
| | 第2講 | 場面別英会話～生活編(1) | レストランで①② | | |
| | 第3講 | 場面別英会話～生活編(2) | レストランで③、人を招待する | | |
| | 第4講 | 場面別英会話～生活編(3) | 家庭を訪問する、人をもてなす | | |
| | 第5講 | 場面別英会話～生活編(4) | ショッピング①② | | |
| | 第6講 | 場面別英会話～生活編(5) | ショッピング③、電話① | | |
| | 第7講 | 場面別英会話～生活編(6) | 電話②、病気になったら | | |
| | 第8講 | 場面別英会話～生活編(7) | 病院へ行く、 | | |
| | 第9講 | 海外旅行編(1) | 空港で、飛行機のなかで | | |
| | 第10講 | 海外旅行編(2) | ホテルで①② | | |
| | 第11講 | 海外旅行編(3) | ホテルで③、道をたずねる | | |
| | 第12講 | 海外旅行編(4) | 交通機関を利用する、観光案内所で | | |
| | 第13講 | 海外旅行編(5) | 観光ツアーに参加する、観光地で | | |
| | 第14講 | 海外旅行編(6) | エンターテインメントを楽しむ、トラブルに遭ったら | | |
| 第15講 | まとめと演習 | これまでの復習演習 | | | |
| 指導方法 | テキストの内容に沿って上記のように進めていきます。テキストの他に、交通機関で使われる英語音声の聞き取りや、交通関係の英語動画を視聴して、頻出するフレーズの解説などを行います。 | | | | |
| 事前学習 | 授業前の事前学習として、授業内で指示された英語の映像・資料に目を通しておくこと。 1時間30分程度の学習時間が目安である。 | | | | |
| 事後学習 | 授業後の事後学習として、授業内容をしっかり復習し、期限内に Google Classroom に課題を提出すること。 1時間30分程度の学習時間が目安である。 | | | | |
| 成績評価方法 | 本試験 50% + 平常点(課題点)50% | | | | |
| 課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法 | 授業内で課題の講評を行う。必要に応じて Google Classroom でフィードバックを行う。 | | | | |
| テキスト | 井口紀子『1から出直し書き込み式英会話 BOOK』成美堂出版、2008年（基礎英語Ⅱで購入済みの場合は新たに購入する必要はありません） | | | | |
| 参考文献 | 授業内で適宜指示します。 | | | | |
| 実務家教員による授業 | 教員 | 経歴 | | | |
| 特記事項 | 原則として前期の基礎英語2のクラス分けと同じメンバーで行います。 | | | | |